

男装の教師／小川宮子



明治・大正・昭和に活躍した

第一七三回企画展

酒田の女性達

開催期間

平成23年11月19日(土)
～平成24年2月7日(火)

- ◎開館時間／午前9時～午後4時30分
- ◎休館日／12月～2月の間の月曜日(祝日の場合は翌日休館)・12月29日～1月3日
- ◎入館料／一般100円・学生50円
(小中学生は土日無料)

酒田市立資料館

SAKATA CITY MUSEUM



文学少女／菊池リウ

わたしの時代・母の時代・祖母の時代を振り返る



酒田高等女学校(昭和初期)

明治時代、文明開化により欧米の文化が日本に流入し、酒田でも女性の社会進出が徐々に活発になりました。酒田初の女学校・県立酒田高等女学校(現酒田西高等学校)は明治三十一年に開校し、多くの著名人を輩出しています。女性達も高等教育を受けるようになり、文芸や政治・スポーツの分野にも進出してゆきます。昭和に入り芸術文化も活発化し、全国を舞台に活躍する芸術家も現れました。

女工哀歌ともいわれた戦前の労働環境で経済を支えた女性、暗い戦争の時代を工夫と努力で生き抜いた女性達の強さ、酒田特有の女性文化等、様々な視点から女性の歴史をご紹介します。

今回の企画展では、代表的な女性の紹介・酒田の女学校の歴史・街の女性と村の女性・流行などを通して「酒田の女性」の活動の歴史を振り返ります。

酒田の代表的な女性の紹介

小川 宮子・菊池 リウ
阿部 八重・加藤 千恵
岸 洋子・戸田みつき
原 のぶ子

女子教育の歴史

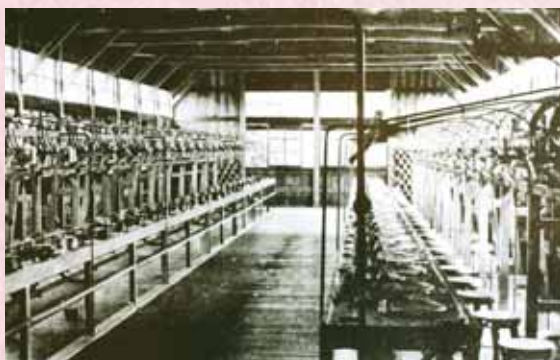
山形県立酒田西高等学校
(旧・酒田高等女学校)
酒田市立酒田中央高等学校
(旧・酒田市立高等学校)
天真学園高等学校
(旧・酒田裁縫女学校)

町の女性・村の女性・浜の女性

酒田舞妓の今昔
ハンコタンナの農作業
アバの行商



酒田市立高等学校 授業風景(戦後)



多くの女性が働いた松岡製糸場(大正期)



愛国百人一首絵葉書(戦前)

調査員による解説

11月23日(祝)・12月10日(土)
12月18日(日)・1月7日(土)

午前10時より開始致します
資料館1階へお越し
ください

協力者一覧

山形県立酒田西高等学校
酒田市立酒田中央高等学校
天真学園高等学校
株式会社平田牧場
財団法人本間美術館
松山文化伝承館
旧阿部家
石井上子氏

次回企画展

雛と源氏物語の世界

平成24年2月11日(土)~4月3日(火)

酒田市立資料館

酒田市一番町8番16号 TEL 0234-24-6544
e-mail:sakata-city-museum@city.sakata.yamagata.jp

開館時間 午前9時~午後4時30分
休館日 12月~2月の間の月曜日(祝日の場合は翌日休館)・12月29日~1月3日
入館料 一般100円・学生50円(小中学生は土日無料)